

(別紙4(2))

事業所名 グループホームはなえくぼ扶桑

作成日: 令和 8 年 3 月 16 日

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。  
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	40	嚥下機能や認知機能の低下により、食事の提供方法や作業への参加方法に配慮が必要な利用者様が増えてきているが、職員によってリスクに対する認識にばらつきがあり、ケア方法が統一されないことがある	安全に食事を楽しんでいただいたり、準備や片付けに気持ちよく参加していただくために、利用者様の状態変化に気づく力を高め、その時々状態に合わせた適切な対応を検討し、決定した対応方法を全員が統一して行えるようにする	・KYTの継続で職員の気づきの精度を上げる ・気づきをすぐにヒヤリハットで報告する必要性を 繰り返して伝える ・決定事項の情報共有について、確実に行える方法を模索し、情報共有の徹底に努める	12ヶ月
2					ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。